

形成外科

1 構 成 員

	平成 26 年 3 月 31 日現在
教授	0 人
病院教授	1 人
准教授	0 人
病院准教授	0 人
講師（うち病院籍）	0 人 (0 人)
病院講師	1 人
助教（うち病院籍）	0 人 (0 人)
診療助教	3 人
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人
医員	3 人
研修医	0 人
特任研究員	0 人
大学院学生（うち他講座から）	0 人 (0 人)
研究生	0 人
外国人客員研究員	0 人
技術職員（教務職員を含む）	0 人
その他（技術補佐員等）	0 人
合計	8 人

2 教員の異動状況

深水 秀一（病院教授）（H19.2.1～19.3.31 助教授；19.4.1～23.9.30 准教授；23.10.1～現職）
 藤原 雅雄（病院講師）（H19.4.1～24.9.30 助教；24.10.1～現職）
 永田 武士（診療助教）（H21.4.1～23.3.31 医員；23.4.1～現職）
 水上 高秀（診療助教）（H24.4.1～現職）
 瀧口 徹也（診療助教）（H25.9.1～現職）
 山田 萌絵（医員）（H24.4.1～現職）
 青山 昌平（医員）（H25.4.1～現職）
 瀬野尾 歩（医員）（H25.4.1～現職）

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 25 年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編 (1 編)
そのインパクトファクターの合計	7.11
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数（うち邦文のもの）	1 編 (1 編)

そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	0 編 (0 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	7 編 (5 編)
そのインパクトファクターの合計	3.53

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Nagata T, Fujiwara M, Matsushita Y, Fukamizu H: Reading man flap: application to plantar defects. J Foot Ankle Surg 52:498-500, 2013.
2. Fujiwara M, Nagata T, Matsushita Y, Ishikawa K, Ohta Y, Fukamizu H: Delayed distally based sural flap with temporary venous charging. Microsurg. 33: 534-538, 2013.
3. Mizukami T, Hyodo I, Fukamizu H, Mineta H: Reconstruction of lateral mandibular defect: a comparison of functional and aesthetic outcomes of bony reconstruction vs soft tissue reconstruction - long-term follow up. Acta Oto-Laryngologica 133:1304-1310, 2013.
4. 深水秀一、水上高秀、永田武士: 顔面腫瘍(瘤)の診断と治療. 悪性腫瘍 形成外科 56:411-422, 2013.

インパクトファクターの小計 [3.59]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Ito T, Hashizume H, Shimauchi T, Funakoshi A, Ito N, Fukamizu H, Takigawa M, Tokura Y: CXCL10 produced from hair follicles induces Th1 and Tc1 cell infiltration in the acute phase of alopecia areata followed by sustained Tc1 accumulation in the chronic phase. J Dermatol Sci 69:140-147, 2013.

インパクトファクターの小計 [3.52]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

(2-2) レター

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 深水秀一: マイクロニードルと美容皮膚科. 日本美容皮膚科学会雑誌 23:271-279, 2013.

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(4) 著 書

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Nagata T, Fujiwara M, Fukamizu H: Treatment of a radiation ulcer combining negative pressure wound therapy with flap reconstruction. J Dermatol 40:766-767, 2013.
2. Fujiwara M, Nagata T, Matsushita Y, Fukamizu H: Superior gluteal lymph node metastasis of melanoma. J Dermatol 40:852-853, 2013.

インパクトファクターの小計 [3.53]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

1. Kawakatsu M*, Fujiwara M: Venous varix of the dorsal aspect of the thumb; report of two cases. Hand Surg. 18(2): 261-5, 2013.
2. 大塚正樹、瀧口徹也、野田和代、山崎修、岩月啓氏: 術前動脈塞栓術を行わず減量術に踏み切った頭部びまん性神経線維腫の1例. 日本皮膚外科学会誌. 17:10-11, 2013.
3. 鈴木規弘、濱田利久、瀧口徹也、岩月啓氏: リンパ管内にリンパ腫細胞を認めた未分化大細胞リンパ腫について. Skin Cancer. 27:404, 2013.
4. 野田和代、青山裕美、瀧口徹也、岩月啓氏: DLSTが有用であったラモトリギンによる非典型薬剤性過敏症症候群. 臨皮 67:1033-1037, 2013.
5. 神山 圭史、水上 高秀、兵藤 伊久夫、杉浦 英志、山田 健志、浜田 俊介、金光 幸秀: 切除により側腹部の広範な欠損を生じた大腸癌の1例. 骨軟部腫瘍治療 4:87-90, 2013.

インパクトファクターの小計 [0]

4 特許等の出願状況

	平成 25 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成 25 年度	
(1) 文部科学省科学研究費	1 件	(455 万円)
(2) 厚生労働省科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1 件	(170 万円)
(4) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(5) 受託研究または共同研究	2 件	(124 万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	2 件	(50 万円)

(1) 文部科学省科学研究費

学術振興会、皮膚悪性腫瘍にこけるセンチネルリンパ節検索パターン解析(JSPS 24591625)

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

独立行政法人科学技術振興機構、平成 25 年度第 1 回「研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 探索タイプ」、手指の創傷に対する持続陰圧洗浄装置の開発 (AS251Z01440P)

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

1. 医療用シールの開発、株式会社 共和
2. 培養表皮 ジェイス J T E C

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	2 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	4 件
(4) 学会開催回数	0 件	1 件
(5) 学会役員等回数	0 件	8 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

第 10 回日本褥瘡学会中部地方会学術集会開催

2) 学会における特別講演・招待講演

第 31 回日本美容皮膚科学会学術集会

第 19 回日本形成外科手術手技学会

3) シンポジウム発表

4) 座長をした学会名

第 56 回日本形成外科学会総会・学術集会

第 48 回中部形成外科学会学術集会

第 5 回日本創傷外科学会総会・学術集会

第 15 回日本褥瘡学会総会・学術集会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本形成外科学会評議員、日本褥瘡学会評議員、日本皮膚悪性腫瘍学会評議員

日本創傷外科学会評議員、静岡県形成外科医会会長、日本熱傷学会東海地方会評議員

東海マイクロサージャリー研究会世話人 (以上深水秀一)

日本マイクロサージャリー学会評議員 (藤原雅雄)

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0 件	0 件

- （１）国内の英文雑誌等の編集
- （２）外国の学術雑誌の編集
- （３）国内外の英文雑誌のレフリー

Drug Design, Development and Therapy: 1 (open access online journal, New Zealand)
 Clinical Cosmetic Investigative Dermatology: 2 (open access online journal, New Zealand)
 Patient Preference and Adherence: 1 (open access online journal, New Zealand)
 Journal of Dermatology: 1 (Japan)

9 共同研究の実施状況

	平成 25 年度
（１）国際共同研究	0 件
（２）国内共同研究	0 件
（３）学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 25 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

1. 皮膚悪性腫瘍におけるインドシアニンググリーン（Indocyanine green）と R I を併用したセンチネルリンパ節（sentinel lymph nodes）の同定と評価
 2. マイクロニードル機器の局所麻酔およびステロイド局注への応用
 3. 指尖部・手背の創傷に対する陰圧閉鎖洗浄療法
 4. 皮膚軟部組織感染症に対する A B K 高用量投与
 5. 熱傷および壊死性筋膜炎の進行を抑え、合併する D I C を予防するためのトロンボモジュリンアルファ（rhTM）の有用性と安全性の検討
- 上記について論文発表および学会発表を行った。

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

15 新聞、雑誌等による報道